

古事の森第一号

鞍馬山・貴船山国有林

京都大阪森林管理事務所

京都の夏の風物詩となっている川床で有名な貴船町を流れる貴船川。この川に沿って左岸が鞍馬山国有林、右岸が貴船山国有林となっています。面積は約二百二十㊦、この全域が歴史的風土保存地区、風致地区に指定されており、一部が土砂崩壊防備保安林、風致保安林となっており景観保全に配慮した施設が行われてきました。

この鞍馬山国有林に隣接して鞍馬寺があり、源九郎判官義経、幼名「牛若丸」が修行したことで知られています。比叡山電鉄鞍馬線



貴船の秋

の最終駅が鞍馬駅で、そこから歩いて鞍馬山門、由岐神社、鞍馬寺に至ります。その奥に義経堂、僧正ヶ

谷不動堂、奥の院魔王堂と続き、絶好のハイキングコースとなっています。鞍馬山国有林は鞍馬寺の信仰の山でもあり、スギ、ヒノキの高品質大径材生産林として長伐期施設を行っていません。将来に向けて公益的機能の発揮、高品質材を維持供給していくためにも積極的な保育作業を行っています。

また、貴船山国有林に隣接して水の神を奉る貴船神社があり、本



貴船神社本殿

殿の修理用材として鞍馬山国有林のヒノキ材が使用されています。この地域は貴船川に沿って料理旅館が立ち並び、渓谷沿いの広葉樹林や水辺の植生は、旅館や神社の景色となり、多くの観光客を楽し



檜皮の採取風景

ませています。

鞍馬山国有林と貴船山国有林は平成七年に「水源の森百選」に選ばれ、平成十二年度には「世界文化遺産貢献の森」の檜皮ゾーン・文化用材の森林ゾーンに指定されました。その際に檜皮採取試験地が設定され、檜皮に関する情報の収集や檜皮の剥皮による木材への影響、コスト面等において気候差のある内陸部と瀬戸内部を比較調査し、檜皮供給体制の確立を図ることを目的としています。

平成十四年には、伝統的木造建築物の修復のための良質大径材供

給地として、全国に先駆けて「古事の森」の第一号地が鞍馬山国有林内に設定されました。一・一〇㊦の面積に百年生のヒノキを上層木とする複層林仕立てとなっています。設定時の記念植樹として平成十四年四月二一日に提唱者の作家立松和平氏、林野庁長官が出席しポランティアの方々と共にヒノキの植樹を行いました。この作業は伐採時期まで三百年を超える壮大な計画です。自然景観のみならず日本の伝統文化に貢献する国有林として今後も期待されています。



古事の森 記念植樹箇所

〒六〇二・八〇五四

京都市上京区西洞院通り下長者町下ル
丁子風呂町一〇二 京都農林水産総合庁舎

TEL〇七五・四一四・九八二二

FAX〇七五・四三二・二三七五

http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/

kyoto/